



京都女子大学 紫金寮

Kyoto Women's University SHIKON RYO



1. エントランス
2. エントランスホール
3. 玄関アプローチ

# 伝統を発展させ、 多様な繋がりを育み 、 人間力を高める。

「紫金山寮」は人と人との繋がりの中で人間力を高める」という本学学生寮の伝統を継承・発展させ、これまで以上に多様なコミュニケーションを育む場となることを目指しています。

また、プライバシーへの配慮、環境対応といった現代の住空間に不可欠な条件を充実させることで、寮生により安心・快適な学生生活を提供します。





すべての寮生が利用しやすいフロアとなるよう、1階には学習室や多目的室等の共用部門と、事務室・寮監室・バリアフリー対応の休養室等の管理部門をまとめて配置しています。また、寮室棟とは別に288人の寮生が集まることができる仏間棟を併設し、朝の礼拝以外にも多目的に利用できるフレキシブルな平土間ホールとしています。

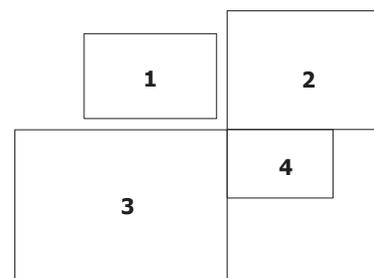


1	2	3	4
5	6	7	8

9	10
---	----

- 1. 庭園
- 2. ウッドデッキ
- 3. 下足室
- 4. 事務室
- 5. 庭園
- 6. 学習室
- 7. パソコン室
- 8. 多目的室 (和室)
- 9-10. 仏間

思い思いの場所で  
深まる交流。



1. ろじカフェ (5階)
2. キッチン
3. キッチン・ダイニングフロア
4. リビング



1	2	3	4
5	6		

1. シャワー室
2. 洗濯室
- 3-4. 洗面
5. 脱衣所
6. 浴室

### 各階に個性をもたらすテーマカラー

フロアごとに個性を演出するために、2階から5階の共用部にそれぞれ異なるテーマカラーを配しています。京都の四季をイメージした色合いで、寮生たちが集うリビングコーナーなどを彩ります。

エレベーターのパネルに浮かぶ京女のシンボルマークも、フロアごとに色が変わります。

2F: 春、3F: 夏、4F: 秋、5F: 冬。

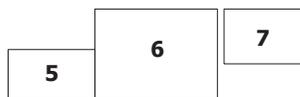
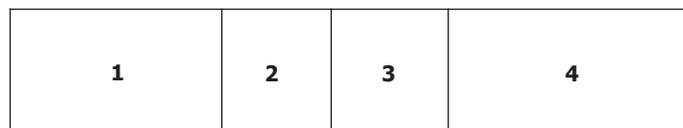




## さまざまに形を変える空間。

3人1室という京女の伝統を受け継ぎながら、それぞれが個人スペースを確保できるよう家具構成に工夫を施しています。また、2室の間仕切りを引き戸とし、それを開けることによって6人で使えるリビングと共用のバルコニーが生まれる空間構成としています。





1. 寮生室
2. 寮生室（個人スペース）
3. 廊下
4. 紫金寮外観
5. 寮生室（入口）
6. 寮生室
7. バルコニー

Etc.

階数表示や在室表示などのサインは、細部にこだわった分かりやすいデザインとしています。また、内装には打ち放しのコンクリートやレンガ調タイル、ヒノキなどを用い、素材そのものの魅力を最大限に活かした仕上げとしています。





## 建築概要

所在地：京都市東山区今熊野北日吉町5番 他  
構造・規模：鉄筋コンクリート造 地上5階・塔屋1  
階建築面積：1,747.35㎡  
延床面積：6,176.31㎡  
事業者：学校法人 京都女子学園  
設計：株式会社 日建設計  
施工：西松建設 株式会社  
工期：平成28年7月4日～平成29年9月10日  
収容人数：288名

京都女子大学 紫金寮

[www.kyoto-wu.ac.jp](http://www.kyoto-wu.ac.jp)